

第 102 号

育成会 会報

平成30年度版

発行所

一般社団法人
広島県手をつなぐ育成会

広島市西区打越町17-27
育成会総合福祉センター内

TEL (082)537-1773

FAX (082)537-1778

編集責任 副島宏克

地域を丸ごとステージと考えて

第44回広島県知的障害者福祉大会 大会実行委員長 瀬良 京子
(NPO法人 神辺育成会 理事長)



「一人ひとりのかけがえのない人生を!!」
第44回広島県知的障害者福祉大会 福山・神辺大会
第17回はつらつ大会 (本人大会) 福山・神辺大会

第44回広島県知的障害者福祉大会ならびに第17回はつらつ大会(本人大会)を2018年10月28日、福山・神辺会場で開催するにあたり、福山市をはじめ各行政や福祉団体の方々にご理解とご協力をいただき開催する運びとなりました。心から感謝申し上げます。そして本年7月

の西日本豪雨では、甚大な被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。4年前にも広島市における土砂災害にみられるように自然の猛威を前に人間の無力さを感じましたが、住民のみならず、助け合う姿を拝見する機会が増えました。さて近年、障害者総合福祉法や児童福祉法の改正など、4月に新しいサービスがスタートしました。法整備が整いつつある中で「互助の精神」も育ちつつあることは、障がい者福祉分野のみならず本場の意味でのノーマライゼーション精神が少しずつ浸透してきているのではないかと考えます。今大会では、「二人ひとりのかけがえのない人生を!!」をテーマに、この世に生を受けた人は

夕日の美しい町で仲間とふれあいを



神辺育成会さくらの会

本人部会会長 西久保 昌枝

みなさん、こんにちは。

私は神辺育成会さくらの会本人部会会長西久保昌枝です。

第17回はつらつ大会(福山・神辺大会)を、神辺の地で開催することになりました。

神辺は夕日の美しい歴史ある町です。そこで今回のスローガンは「夕日かがやぐ神辺で、笑顔いっぱい広げ、一歩ふみだそう」です。

午前中の分科会は、「行政との話し合い」「みんな笑顔になる勉強会」「紙ヒコキを作って飛ばそう」を開催します。

午後からは 体育館で神辺育成会ダンス部によるダンスの披露と、長年指導をしていただいている、蟹藤寿美子先生の軽快なダンスと一緒に楽しみたいと思います。

みなさんに沢山の笑顔と思い出をつくってもらえるよう、神辺育成会さくらの会と福山手をつなぐ育成会、福山仲良し会の仲間たちと準備をしてきました。

県内の育成会の仲間たちに会えることを楽しみにしています。みなさんふるって参加してください。

お待ちしております。

全て意味のあること、誰もが地域の中で生き生きと暮らす権利を有していること、そのために私たちは何をしたら良いのか。講師の福岡寿氏をお招きして、地域丸ごとをステージと考えて、支援のあり方を本人・支援者・

家族と共に考える場となる大会になることを願っています。また、神辺は歴史のある文化の街です。2006年福山市に合併し、中核市の一員となりました。この神辺にぜひ、お越し

第44回広島県知的障害者福祉大会 福山・神辺大会 第17回はつらつ大会(本人大会)



大会会長 副島 宏克 (広島県手をつなぐ育成会会長)

あふれる共生のまち 福山をめぐらして「がうたわれまじた」。この大会のねらいは、「誰にとっても優しい暮らしやすい地域社会の実現」です。大会主旨

を願う大勢の人たちが参集し、それぞれのわが町を「優しい暮らしやすい街」にするために一緒に考えていきたいと思います。大勢の参加を期待しております。

共に考えましょう「優しく暮らしやすい街を」 ＝大勢の参加を期待します＝

第44回広島県知的障害者福祉大会 福山・神辺大会
第17回はつらつ大会(本人大会) 福山・神辺大会

要綱

期日	2018年10月28日(日)					
会場	<<一般大会会場>> 福山市神辺文化会館 大ホール 福山市神辺町川北 1151-1 <<はつらつ大会(本人大会)会場>> 福山市神辺文化会館 小ホール 福山市神辺町川北 1151-1 福山市かなべ市民交流センター 3階 学習室 福山市神辺町川北 1151-1 アレナ神辺(神辺体育館) 福山市神辺町川北 1151-1					
参加者	どなたでも参加できます。 知的・発達に障がいのある人とその家族・育成会(親の会)の会員や福祉サービス事業所・学校・関係行政機関、雇用関係事業所・民生委員児童委員及びボランティアなど福祉に関心のある人達					
講演	【講師】長野県自立支援協議会会長・日本相談支援専門員協会顧問 福岡 寿氏 【演題】「暮らしにくさを抱えている人を地域で支援する」					
シンポジウム	【テーマ】「暮らしやすい地域をつくるために」 【助言者】福岡 寿氏 【シンポジスト】地域行政・相談支援専門員・保護者 【コーディネーター】副島 宏克氏					
日程	一般大会					
	9:00	9:45	10:45	12:10	13:00	14:30 15:15
	受付	開会式(合同)	講演 講師 福岡 寿	昼食 休憩	シンポジウム	大会決議 閉会行事(合同)
日程	はつらつ大会(本人大会)					
	9:00	9:45	10:45	11:00	12:00 13:00	14:00 14:30 15:15
	受付	開会式(合同)	移動	行政との話し合い みんな笑顔になる 勉強会 紙ヒコーキを作って 飛ばそう	昼食 休憩 みんなで 楽しもう	移動 大会決議 閉会行事(合同)
連絡先	第44回 広島県知的障害者福祉大会実行委員会 現地事務局 NPO法人神辺育成会内 〒720-2125 福山市神辺町新徳田二丁目162番地 担当:長尾・渡辺 TEL:084-960-3722 FAX:084-960-3723					

講師プロフィール

福岡 寿氏
(ふくおかひさし)

1957年 生まれ
1981年 東京大学文学部卒業
" 長野県内中学校教師
1990年 地域療育拠点施設事業コーディネーター
1998年 北信圏域障害者支援センター所長
社会福祉法人高水福祉会 常務理事
2003年 長野県社会部障害福祉課
障害者自立支援室専門員
2008年 北信圏域障害者総合相談支援センター
相談支援専門員・常務理事

長野県地域支援力向上スーパーバイザー、
日本相談支援専門員協会顧問

大会ホスト役「神辺育成会」 活動レポート

今年で結成25周年を迎えます

神辺育成会は、障がいのある人の自立と社会参加を支援し、安心して豊かに暮らせる地域づくりを目指し、1994年に任意団体として結成されました。13年前にNPO法人を取得し、事業体、運動体の両輪を備えることができました。

運動体は、現在正会員は約100名で構成され、本人部会、レクリエーション部会、学習・研修部会、広報部会を設け、それぞれの部会で話し合い、様々な活動に取り組んでいます。全国的に会員数が減少する中で、神辺育成会は横ばい状態です。若い保護者の加入を目指し、会員間の情報の共有はもちろん、やるべきことを明確化して一つひとつ取り組んでいます。小学校入学を祝う会やサポートファイル記入会と講演会等は定期的に行っています。県育成会や福山手をつなぐ育成会との連携も大切にしています。

何よりも、本人活動において本人たちの意識が高まりつつある中で、本大会が神辺で迎えられることに喜びを感じています。



「ほつとできる事業所」
「必要な支援のできる事業所」
めざして

神辺育成会は短期入所事業及び日中一時支援事業をNPO法人を取得して開始しました。開始当初はアパートを利用して宿泊をしていましたが、2016年に2階建ての建物を新築し、より多くの方に利用してい

たれているところです。「ほつとできる事業所」、「必要な支援のできる事業所」をめざし、少人数で家庭的な雰囲気です。働いている人たちが主に利用され、ほとんど毎日誰かが泊まっています。

夕食は専門の調理員がおいしい手料理を作ってくれます。朝ごはんは自分たちで協力して作りますし、掃除も自分たちできるところはやりま

「学校や家庭以外の活動の場所づくりや宿泊体験」がほしいという保護者の願いが、短期入所事業所を作り、支えてきました。

次に、日中一時支援事業は、仕事帰りや土曜日の休日に集まり、楽しむ活動や仲間とのふれあいの活動をしています。土曜日は昼食、月曜日から金曜日には夕食も提供しています。

また、土曜日にはドライブや散歩、スポーツ、児童といっしょに講師を招いてのダンスや音楽療法なども毎月企画されて大勢で楽しんでいます。

支え合う、育ち合う 笑顔あふれる事業所に

放課後等デイサービス事業は、2012年4月の児童福祉法改正によって制度化された福祉サービスです。その目的は、

授業の終了後または休業日に、生活能力の向上のための必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与することとされています。

当事業所では、平日は14時～18時30分、土曜日や長期休暇は9時30分～15時30分で活動を行っています。曜日によって活動内容が分かれており、音楽活動や体づくり、集団遊び、創作活動、みどり活動などを提供しております。

活動の中には子どもたちが中心となって進める活動もあり、自分たちが活躍できる場を楽しみにしてくれています。また、集団が苦手な児童には個別対応
(4ページへ)





を行いながら、活動への参加も促しています。

土曜日には外部講師を迎え、音楽療法やダンスを行っていません。ダンスでは、地域の行事で披露する機会を年に数回いただけ、緊張することもなく楽しくダンスをしている姿は頼もしく感じる場面です。

今後も、一人ひとりに寄り添う支援が行えるよう、職員一同取り組んでまいります。



**「保護者と共に
楽しい気持ち」を高めよう**

児童発達支援事業所「なないろ」は、就学前の発達に課題のある幼児を毎日受け入れ療育を行なう事業所として、2016年6月に開所しました。

楽しい活動や大好きな活動を

たっぷりすることで、手ごたえが感じられる生活や、人との関係構築、「大好きな人がいるからやってみよう」「楽しそう」と言う気持ちを高めながら、興味や関心の幅を広げていけるよう療育に取り組んでいます。

子どものしんどさや困り感を保護者と一緒に考え、また、地域の中で安心した生活が送れる

はつらつ大会にも登場 さくらの会ダンス部

毎月第4土曜日に、インストラクター蟹藤先生の指導の下、ダンスやストレッチを教わっています。児童から成人まで幅広く参加しています。地域のお祭り等でステージ出演する衣装は、保護者が考えて用意してくれています。レパトリーを増やすために、新しい曲での練習も頑張っています。私たちのステージを観て、仲間が増えてくれるとうれしいです。



ように、子どもを取り巻く様々な関係機関とも連携を取りながら支援を行なっていきたいと考えます。

プロフィール 蟹藤寿美子 先生 (かにとうすみこ)



20歳からエアロビクスインストラクターとして、スポーツクラブ、公共施設などで様々な運動指導を行う。そんな時、ここにこ福祉会より依頼を受け、利用者へのダンス指導を手探りで始める。その縁で始まった神辺育成会での毎月一度のダンス指導は13年となる。現在は運動指導の他、司会業、家業の写真館の経営なども行っている。